

こころのケア科

1. 概要

当院こころのケア科の現在の主な業務は、1) 入院中の患者のメンタル面に関連した副科業務 2) 緩和ケアチームの一員として、精神的ケアが必要な患者へのメンタル面でのサポートである。最も多いのがせん妄への対応であるが、他にも不眠・抑うつ・不安などに対しても依頼があれば対応している。自殺企図によって入院となった患者への入院中の診察、退院後の通院先の紹介等の対応も行っている。

また、もともと精神疾患のある方が、身体疾患治療のため当院入院となった場合の診察・処方調整・かかりつけ医への報告などの対応も行っている。緩和ケアチームの業務としては、週1回のカンファレンスと回診、それ以外でも依頼があれば随時対応する。

昨年度までは当科には精神科常勤医がおらず、週1日の非常勤医師勤務によってこれらの業務が維持されてきたが、2019年4月より常勤医師が赴任し、より切れ目のない対応が可能となった。今後、入院患者のメンタルサポート、精神疾患を有する患者の退院後のクリニックへの紹介等、院内院外の各部門部署との連携を深めていく予定である。

(部長 古水 克明)

2. 活動報告

2019年度の副科初診診察は299人であった。院内のほぼすべての診療科より依頼をうけている。

保険診療委員会主催学術講演会 不安不眠に関する研修会

開催日：	2019年9月12日（第1回） 「主な不安症の特徴と薬物療法 ～BZD受容体作動薬の適正使用に向けて～」 講師 可知記念病院医局長 桑原高史
開催日：	2019年10月17日（第2回） 「依存症を防ぐための睡眠薬の使い分け」 講師 こころのケア科部長 古水克明

講演（医局）

<こころのケア科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	依存を防ぐための睡眠薬の使い分け	古水 克明	第2回不安、不眠に関する研修会	豊橋市	2019/10/17	